ぼくのノオト

⑩ 藤綱と穀田屋

鎌倉の武士、青砥藤綱は夜の川に銭十文を落とした。暗い中を探したが見つからず、銭五十文で松明を買い、やっと探し当てた。落とした十文のために五十文を使うなど、愚かなことと周りから言われたが、当の藤綱は、十文を失うことなく、合わせて六十文の利を人々にもたらしたと喜んだ。

吉岡宿の商人、穀田屋十三郎らは困窮の中にある農民家族のため、自らの家財を売り小銭を集めた。やっと貯めた千両を仙台藩に貸し付け、その利息をもって夜逃げ人の絶えなかった宿場を救った。

ケチケチしているが、ケチではない心の豊かさ。ケチな気持ちでは、まず理解できまい。

一粒の花の種は地中に朽ちず　終に千株の梢に登ると　謂ふが事も候へ

穀田屋　十三郎



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室
たらちねクリニック
院長　藤田 操
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階
Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時（受付は30分前）／土・日・祝日休診